



軽やかなステップで踊る洞爺湖フォークダンスサークル

第30回 洞爺湖町ふれ合う心の文化広場（洞爺湖町文化団体協議会主催）が、3月8日

洞爺湖文化センターで開かれました。町内の他伊達、登別などから合わせて20団体が参加し、歌、踊り、楽器演奏などが披露され、観客らを楽しませました。

オープニングは、清水友愛の里「風雅」の琴演奏。引き続き、太極拳、民謡など多彩な出し物がステージで繰り広げられました。

フィナーレは、今年も洞爺湖小唄音頭保存会による「洞爺湖音頭」で、会場を大いに盛り上げました。

活動の成果を発表 ふれ合う心の文化広場開く

読み聞かせ、ゲームで楽しむ 図書まつり

3月7日、図書まつり（教育委員会主催）が、洞爺総合センター図書室で開催され、10人の児童たちが参加し読み聞かせなどを楽しみました。

最初に「うまれたてのいろ」など絵本3冊の読み聞かせを、たんぽぽの会の皆さんが行い、引き続き紙飛行機作りや、折り紙など紙を使った遊びを行いました。

最後に別室に移動して、人気テレビアニメ「あらしのよるに〜ひみつのともだち〜1」のDVDを鑑賞しました。



折り紙で遊ぶ児童たち

児童らは、様々な事件を乗り越えて強い絆で結ばれていくストーリーに集中して見ていました。

体幹トレーニングを実技指導 スポーツ指導者の講習会

スポーツ指導者などを対象にしたスポーツ指導者講習会が、3月14日あぶた体育館で開催されました。町内や近隣市町の体育協会員、スポーツ推進委員、スポーツ少年団関係者など66人が参加して、実技研修に熱心に取り組みました。

講師は、日本トレーニング指導者協会特別トレーニング指導者の津田達也氏。

体幹トレーニングとコーディネーショントレーニングに



体幹のトレーニングを受講するスポーツ指導者たち

ついてリズム能力、バランス能力、変換能力などを鍛える運動を実技指導しました。



洞爺湖のヒメマスの現状を聴く参加者たち

洞爺湖のヒメマス資源の現状と将来展望について考える洞爺湖ヒメマスフォーラムが、3月20日役場防災研修ホールで開催され、洞爺湖漁業協同組合員、遊漁者、行政関係など約30人が参加しました。

現状報告として、上田宏氏（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター洞爺湖臨湖実験所所長）、松石隆氏（北海道大学大学院水産科学研究院准教授）、中島美由紀氏（北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場）の各研究者から研究の成果を発表。「ヒレ切り放流をやり、天然と放流を分かるようにする」「放流個体数を正確に把握する」などが今後の課題として出されました。

資源の現状と課題を報告 洞爺湖ヒメマスフォーラム



まちのわだい